
環境活動レポート

2018年度

(対象期間 2018年6月～2019年5月)



発行日 2019年 6月 23日

改訂日 2019年 9月 21日

エイコー電機株式会社

1. 環境方針

1. 基本理念

エイコー電機株式会社は、当社の電源組立、ハネス・ケーブル加工等の事業活動が地域ならびに地球環境に与える影響を常に考慮し、環境活動システムの継続的な活動および改善を積極的に行い、持続可能な社会の構築に貢献します。

2. 活動指針

1) 具体的に次のことに取り組みます。

- 二酸化炭素排出量の削減
 - 電気使用量の削減
 - 化石燃料使用量の削減
- 廃棄物排出量の削減
廃棄物の3R（発生抑制、再使用、再生利用）を推進
- 水使用量の削減
- 化学物資使用量の把握および適正管理
- 不良件数の低減

2) 環境に関する法律、規則、協定を遵守いたします。

3) 従業員に対し、環境教育を実施し、環境保全に関する意識の向上を図ります。

4) 地域社会と積極的にコミュニケーションを図り、地域に密着した事業活動を行い、地域の環境保全に努めます。

5) この環境方針を全従業員に周知徹底させるとともに、一般の方にも公表します。

2010年 9月 1日制定

2019年 6月 1日改訂

エイコー電機株式会社
代表取締役 浅田 耕三

2. 組織の概要

事業所および代表者

エイコー電機株式会社

代表取締役 浅田 耕三

所在地

〒671-2102

兵庫県姫路市夢前町新庄155-3

<http://www.eiko-electric.co.jp/>

環境管理責任者及び担当者の氏名・連絡先

副社長兼生産管理部長兼製造部長 前川 義明

品質保証部 山田 英里

TEL 079-336-2077

FAX 079-336-3157

e-mail y.maekawa@eiko-electric.co.jp

事業内容

電源装置組立、ハーネス・ケーブル製作、制御装置設計・製作、
プリント基板設計・製作

事業規模

資本金 1000万円

売上高 521百万円（2018年度）

面積 敷地 4,950 m² 工場延べ面積 2,283 m²

従業員数 49名

設立 1976年 6月

活動規模	単位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
売上高	百万円	419	469	548	521
従業員	人	45	47	46	49
床面積	m ²	1,600	1,600	1,600	2,283

事業年度：6月～翌年5月

□認証・登録範囲

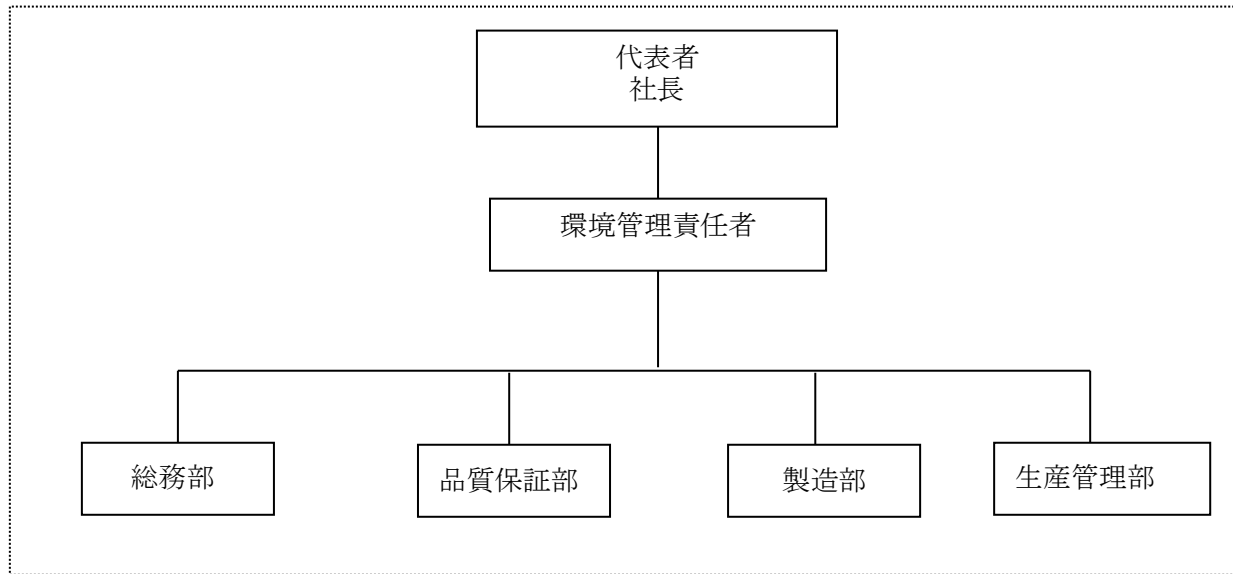
登録組織名：エイコー電機株式会社

対象事業所：本社

対象外：なし

活動：電源装置組立、ハーネス・ケーブル製作、制御装置設計・製作
プリント基板設計・製作

エイコー電機株式会社 環境経営システム実施体制図



	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境活動計画表の承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境目標の設定 ・「環境関連法規制等リスト」の取りまとめ、および自己チェック ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの作成 ・従業員に対する教育訓練の実施 ・外部からの苦情、要望の受付
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門に従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書の承認 ・緊急事態への対応のための手順書の承認 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置
環境推進委員	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者・管理責任者・事務局・各部門代表者で構成。管理責任者が召集する ・環境目標の設定、環境活動計画表の策定および進捗状況について確認、記録する ・緊急事態の対応策の決定 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・緊急事態への対応のための手順書作成、訓練・記録
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全への意識向上 ・環境活動の取組への積極的な参加

3. 環境目標とその実績

(1) 環境負荷項目

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	実績	実績	実績	実績
1) 電力 kWh	91,834	104,310	102,673	93,001
2) ガソリン L	2,401	2,584	2,562	2,778
2) 灯油 L	3,559	3,248	4,678	5,580
二酸化炭素 kg-CO ₂	52,830	57,695	60,523	59,229
水使用量 m ³	442	446	509	518
廃棄物排出量 一廃 t	4.04	4.06	7.16	6.42
産廃 t	3.872	3.75	4.07	4.12
リサイクル率	75.9	77.6	78.7	79.3

※2018年度における水使用量の内訳は、地下水 452 m³ (87.3%) 及び上水 66 m³ (12.7%) である。

(2) 2018年度以降の環境目標 (2018年度より基準年度2011年度→2017年度)

環境目標	単位	実績 基準年度	2018年度 目標	2019年度 目標	2020年度 目標	2021年度 目標
二酸化炭素 排出量の削減	kg-CO ₂	60,523	59,918	59,312	58,707	58,102
●電力	kWh	102,673	101,646	100,619	99,592	98,566
●灯油	L	4,678	4,631	4,584	4,537	4,490
●ガソリン	L	2,562	2,536	2,510	2,485	2,459
●化学物質の適正管理		化学物質使用量の把握と管理	化学物質使用量の把握と管理	化学物質使用量の把握と管理	化学物質使用量の把握と管理	化学物質使用量の把握と管理
●工程内不良の低減	件/月 (月間平均)	1.6件	3.0	3.0	3.0	3.0
産業廃棄物のリサイクル率向上						
●リサイクル率	%	78.7%	79.0%	79.5%	80.0%	80.5%
一般廃棄物の適正処理		適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理
水使用量の削減	m ³	509	504	499	494	489

*二酸化炭素排出係数 0.418kg-CO₂/kWh (関西電力㈱2017年度調整後係数)

*不良件数の低減については、2018年度より取組開始とする。

4. 環境活動計画の内容

1) 数値目標を達成するための取組

(1) 二酸化炭素排出量の削減

① 電気使用量の削減

- ・ エアコンの温度設定を決め実行する。(夏季：26℃ 冬季：20℃)
- ・ 電力のデマンド管理
- ・ 夏季、工場の屋根冷却用にスプリンクラーで散水（地下水使用）
- ・ 長時間使用しない設備の電源を切る。

② ガソリン使用量の削減

- ・ 駐停車の際のアイドリングストップ、燃費管理
- ・ 工程管理による出荷回数の低減
- ・ 法定速度の遵守

③ 灯油使用量の削減

- ・ 室内の適正な温度管理
- ・ 暖房器具の点検、更新

(2) 廃棄物排出量の削減

① 一般廃棄物

- ・ コピー用紙の裏面使用、電子化によるペーパーレス化の推進
- ・ 分別による古紙のリサイクル

② 産業廃棄物

- ・ 分別による廃棄物の種類と排出量の把握、リサイクル率向上への活動
- ・ 最終処分量の削減（混合廃棄物の細分別化推進）

(3) 水使用量の削減

- ・ 漏水の定期点検
- ・ 啓発活動（掲示物）

(4) 化学物質の管理

- ・ 使用量の把握・適正な管理・保管

(5) 工程内不良の低減

- ・ ポカミスの削減（印字方法、記載漏れ・記載ミス、組立手順見直し）

2) その他の取組

- ・ 従業員への教育訓練
- ・ 工場周辺の美化活動

5 取組の結果と評価及び今後の方向

(1) 2018年度における取組の結果と評価及び今後の方向

環境目標	目標・実績・達成率	評価及び今後の取組内容
二酸化炭素排出量 kg-CO ₂ ○電力量 kWh ○灯油 L ○ガソリン L	目標 59,918 実績 59,229 達成率 101.2% 目標 101,646 → 実績 93,001 達成率 109.3% 目標 4,631 → 実績 5,580 達成率 83.0% 目標 2,536 → 実績 2,778 達成率 91.3%	繁忙による稼働時間の増加や、客先要求による出荷頻度の増大を原因として、今回の結果となりました。また増設した倉庫棟の稼働も各数値に影響しました。 目標削減への活動が少し後回しとなってしまっていたことも原因と思われます。 今後の取組みとしては、監視の強化や作業員への協力依頼を継続し、意識付けを図ります。 またあらたに稼働時間の制限(No 残業デーの設定)も設ける予定です。
廃棄物 ○一般廃棄物の適正処理 ○産廃のリサイクル率向上	目標 適正処理 → 実績 100% 達成率 100% 目標 79.0% → 実績 79.3% 達成率 100.4%	今後の取組みとしては、産廃の現状について再調査を行います。具体的には混合廃棄物としてあるモノについて、分別や、再利用について、作業員への指導や協力をお願いして、リサイクル率の向上を図ります。
水使用量 m ³	目標 504.0 実績 518.0 達成率 97.3%	夏季の屋上への散水による実績です。 削減への手段として、稼働、停止をタイマー設定で行い、切り忘れを防止する。
化学物質の適正管理	化学物質使用量の把握と管理 適正に管理する	PRTR 法対象の化学物質 (トルエン・三酸化アンチモン) について、継続して適正な管理・保管に努めます。
工程内不良の低減 件/月 (月間平均)	目標 3.0 → 実績 3.9 達成率 76.6%	今後、不良原因を分析し、引き続き工程内のポカミスの削減に取り組んで行く。
その他の取組 ・工場内外の定期的美化活動 ・従業員教育の計画的な実施	・工場内外の美化活動 年2回 (夏季・冬季実施) ・従業員への啓発	・清掃活動を実施しました。 ・全体朝礼や部署朝礼等を通じて計画や活動状況について説明し、改善の機会を設けています。

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

① 適用される主な環境関連法規

法令・条例・規制	要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	委託契約の締結	遵守
	廃棄物保管基準の順守	遵守
	マニフェストの管理、報告	遵守
	委託業者の許可証の写しを保管	遵守
労働安全衛生法 (有機溶剤中毒予防規則) (鉛中毒予防規則)	作業主任者の選任	遵守
	注意事項や区分の表示、作業教育	遵守
	排気装置の設置	遵守
	作業環境測定の実施	遵守
消防法	防火管理者の任命	遵守
	消防用設備等設置	遵守
PRTR 法	化学物質の管理	遵守
フロン排出抑制法	機器の簡易点検、記録	遵守
自動車リサイクル法	社用車の廃棄	実績なし
家電リサイクル法	家電の廃棄	実績なし

② 違反、訴訟等

環境関連法規等の遵守状況を評価した結果、違反等はありませんでした。

関係当局からの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

近隣からの苦情や訴訟等もありませんでした。

●社長の評価・見直し

見直し、指示事項	結果については、仕事量や気候に大きく左右されてしまうので仕方ない部分があります。作業場が広がったことで、より細かな空調や照明等の管理をお願いします。ゴミの分別については監視を強化し、特に混合廃棄物については分別をよりわかり易く表示するなどの方法を行い、リサイクル率を向上させてください。				
見直しの必要性	環境方針	環境目標	環境活動計画	実施体制	環境経営システム
	<input type="checkbox"/> 要 <input checked="" type="checkbox"/> 否	<input type="checkbox"/> 要 <input checked="" type="checkbox"/> 否	<input type="checkbox"/> 要 <input checked="" type="checkbox"/> 否	<input type="checkbox"/> 要 <input checked="" type="checkbox"/> 否	<input type="checkbox"/> 要 <input checked="" type="checkbox"/> 否

2019年 6月10日

代表者 浅田 耕三